



ひこばえ

葉桜の 中の無数の
空さわぐ



作者 篠原 梵

風薫るさわやかな季節となりました。保護者・地域住民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。例年とは違ったGWでしたが、お疲れは出ておられませんか。それよりも、COVID-19の感染拡大が大いに気になるるところです。ここ岩国市でも連日、感染報道がありますので、学校においてもできる限りの感染防止対策を講じているところです。

生徒たちには、これから計画されている多くの行事や活動ができると信じて備えてほしいと思います。ご家庭におかれましても、励ましのお言葉をお願いいたします。



小中一貫教育合同研修会を開催しました

5月6日(木)、東中学校区の4校の教職員が一堂に会して、標記研修会を開催しました。このような合同研修会は年に3回行います。昨年度は、11月に研究発表会を行いました。これで終わりではありませんので、岩国市の小中一貫教育の先進校として、今年度は成果を積み上げていきたいと考えています。



以下に、今年度の各部会の取組などを紹介します。

部会	部会長名	所属	今年度の主な取組
学び	藤本教頭	東中	学習指導、学力向上、進路指導、校内研修、ICT教育など
こころ	賀屋教頭	装港小	道徳教育、特別支援教育、生徒指導・教育相談、清掃など
からだ	西村教頭	東小	体育行事、食育、性教育、保健指導、安全指導など
つながり	三輪教頭	小瀬小	キャリア教育、特別活動、生徒会、乗り入れ授業など
その他	岩国ひがし学園 グランドデザインの作成、学校・地域連携カリキュラムの作成など		



なお、育友会総会でもご紹介しましたように、本学園の小中一貫教育の「目標」・「めざす子ども像」・「小中一貫教育の期待される成果」については、ぜひご理解いただきたいと思います。学校評価でもお聞きしますので、時々思い起こしてください。

目 標	ふるさとを愛し、ふるさとの人々からも愛される子どもたちの育成
めざす子ども像	自分をつくる子・仲間をつくる子・未来をつくる子
期待される成果	小中ギャップの解消・学力向上・教員の指導力向上・地域の活性化 等



初任者研修 奮闘記



すでに様々な場面でご紹介したように、今年度、本校に3年ぶりに新規採用教員が着任しました。

岩本雄太郎 教諭です。大学を卒業したばかりのフレッシュな先生です。高校まで野球をしていたとのことで、フットワークがよく、爽やかな好青年です。教科は社会、部活動は男子バスケットボールを担当しています。着任して1ヶ月が過ぎましたが、いつも明るく、何事にも真摯に取り組んでいます。

初任者は、毎週1日(木曜日)が「初任者研修日」と設定されており、校外から指導員が来校し、授業の進め方や様々な教育課題への対応の在り方などを学びます。校内の教員も代わる代わる指導に入ります。山口県では、「1000日プラン」と称して、3年間で一人前の教員に育てることを掲げているので、岩本教諭にも一日も早い自立を願うばかりです。

本人は、特に「授業力をつけたい」と張り切っていますので、楽しく分かりやすい授業を追い求めることでしょう。

とにかく、何事にも全力で前向きに取り組みます。それが私の強みです。

私自身、わからないこともありますので、時には子どもたちに教えてもらいながら、子どもたちと一緒に成長していきたいです。



【チャレンジ目標から②】

今号も、皆さんに達成してもらいたいチャレンジ目標の一つについて考えてください。それは、『感謝しながら清掃し、心を磨く！』です。

- 1つだけお話をします。
- ◇ なぜ、掃除が大切なのか？ 掃除をすると、
- 1 謙虚な人になれる
 - 2 気づく人になれる
 - 3 感動の心を育む
 - 4 感謝の心が芽生える
 - 5 心が磨かれる



だそうです。

東中学校は、「無言清掃」から「気付き清掃」へ、「気付き清掃」から「感謝清掃」へと進化し続けています。そして、最終段階は、「心を磨く」です。以下は、株式会社フォスターワン 代表取締役社長 坂上仁志 さんの言葉です。

人は幸せだから感謝するのではない。

感謝するから幸せになれる。

その点、トイレ掃除をしていると、小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれます。

心を取り出して磨くわけにいかないの、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。

心が磨かれるとは、迷いがなくなること、迷いがあるのが人生。毎朝、掃除をすると迷いがなくなる、すると度胸が出てくる。

今こそ、「益はなくとも、意味はある」という言葉に耳を傾けよう。

再度お願い

前号から2週間が過ぎましたが、新型コロナウイルスの猛威は止まるところを知らず、山口県を「ステージ3」に押し上げました。

岩国市においても連日感染者情報を耳にし、人ごとではなくなりました。怖ささえ覚える今日この頃です。

十分に気をつけていても、誰でも感染する可能性があります。今一度、感染防止に努めましょう。そして、感染した人への誹謗中傷は厳に慎みましょう。



かつて子どもを守っていた二つのシールド

『思春期の子をもつ親がすべきこと 10代の子どもの心のコーチング 著 菅原裕子さん（PHP文庫）』という本から、一つお話を紹介します。読んでみてください。

一昔前、かつての親たちは、子どもの自立のことをそんなに真剣に考えていたのでしょうか。私たちの親たちは、私たちが自立させるために、どのように環境を整えなければならぬかを、それほど考えたのでしょうか。

必ずしもそうではありません。私たちが子どもの頃、親たちは、それほど真剣にどう子育てすべきかを考えてはいなかったと思います。

なぜなら、かつては、社会そのものに子どもを育てる力がありました。

ひとつは、地域社会に子どもを育てる力がいました。目には見えない地域の連帯意識や連携が子どもを守り、子どもに何がいけないかを教え、子どもを育てたのです。

私が育った家の隣の家の玄関に落書きが発見されたとき、隣のおじいさんは自分の孫を含め、可能性のある隣近所の子どもを集め、「この絵はうまく描けている。誰が描いたのか？」とたずねました。そこで気をよくした私の兄が手をあげ、兄は隣のおじいさんに大目玉を食らいました。

でもそれで、親同士の、大人同士のもめ事にいたることはありませんでした。子どもをみんなで育てるのは、ごく当たり前のことだったのです。

家の近所に、私と同じクラスの子で、今でいう不登校の子がいました。親が仕事に出かけたあと、学校に行かずに布団にもぐりこんでいるのです。私の母はそれを見つけては、その子を自転車に乗せてよく学校まで届けたものでした。母にしてみれば、気がついた自分が面倒を見るのは、ごく自然なことだったのでしょうか。

そんな具合に、世の中が子どもを育てたのです。

また、世の中にたくさんあった「畏（おそ）れ多きもの」が子育てを楽にしていました。

「畏れ多きもの」とは、現実的な恐怖とは異なり、尊厳や威厳があって、それに対しては多少の緊張をもって接しなければならないのです。

かつての世の中には、たくさんの畏れ多い存在がありました。かつて「お父さん」はその一人でした。「学校の先生」「警察官」など、身近なところにもたくさんの畏れ多い人たちがいたのです。

また、得体の知れないこわいものもたくさんありました。嘘をついて閻魔様（えんさま）に舌を抜かれることを恐れたり、しゃもじについたご飯をなめて、口の大きな子を産むよと脅されたり、子どものまわりにはこわいものでいっぱいでした。でも、それらのこわいものは、自分を律している限り、私たちが苦しめることはなかったのです。

それらの「畏れ多きもの」やこわいものの存在のおかげで、私たち子どもは、世の中には超えてはならないもの、犯してはならないものがあることを、うすうす感じて育ったのです。

つまりかつての私たちは、身近な大人たちの愛情と、目には見えない、超えてはならない「畏れ多きもの」に守られて自立の道をたどりました。それらのものはシールドとなって、大人になるまで私たちを守ってくれました。

大人たちの愛情は、外界から私たちを大きく包み込みました。そして、「畏れ多きもの」やこわいものは、外界の攻撃から私たちを守るのではなく、超えてはいけないものを超えないように自分をコントロールするやり方で、私たちを守ってくれたのです。

でも、そのシールドの中で、子どもたちは自由でした。日本がまだ貧しかった頃、また日本の高度成長期の初期において、生活を豊かにするために懸命に働く親たちには、子どもの生活に干渉する時間はなかったのです。



では、現代はどのようになっているのでしょうか。続きは次号で。

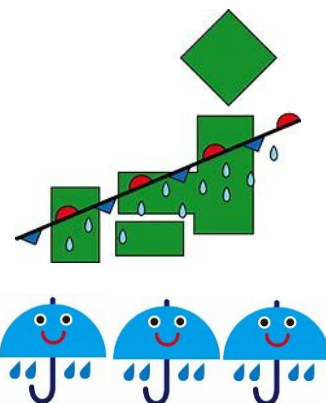
今年の梅雨入りは早い？

5月5日ころに沖縄と奄美が、5月11日ころに九州南部が梅雨入りしました。いずれも例年より早く、特に九州南部は19日も早いそうです。気象庁によると、前線の影響などで九州南部は向こう1週間曇りや雨の日が多くなる見込みとのこと。大雨の恐れも・・・。

ということは、九州北部・山口県も梅雨入り？ 確かに明日以降の天気予報を見ると、「曇り時々雨」が続きます。（例年の梅雨は6月4日～7月19日） このまま長い梅雨となるのか、または、6月末に梅雨が明け、早くも夏となり、暑くなるのか？

なんだか心配になってきました。これも地球温暖化の影響でしょうか。やはり、『SDGs』の13番目の目標：「気候変動に具体的な対策を！」について真剣に考えて実践しないといけないようです。

2050年をたくましく生きることになる皆さんには、特にお願いしたいと思います。



5月～6月 行事予定



日	曜	5月後半の行事など	日	曜	6月前半の行事など
17	月	耳鼻科検診（9年） 第1回学校運営協議会 18～ ※部活動中止日（～23）	1	火	地域一斉あいさつ運動
18	火		2	水	※部活動中止日
19	水	職員会議 耳鼻科検診（7年）	3	木	習熟度診断テスト（9年）
20	木	内科検診（男子）	4	金	
21	金	中間テスト① 小満	5	土	選手権予選① 春季県体水泳の部① 芒種
22	土		6	日	選手権予選② 春季県体水泳の部②
23	日		7	月	育友会理事会 19～
24	月	中間テスト② 専門委員会 教育実習 I 2名（～6/4）	8	火	
25	火		9	水	情報モラル教室 小中一貫教育推進委員会 ※部活動中止日
26	水	校外学習（8年） ※部活動中止日	10	木	
27	木	全国学力・学習状況調査（9年）	11	金	入梅
28	金		12	土	
29	土		13	日	
30	日		14	月	自由参観週間（～19日）
31	月	教育実習 II 1名（～6/18） 生徒集会	15	火	教育相談週間（～24日） 期末テスト発表
			16	水	職員会議 ※部活動中止日